

平成 20 年 4 月 8 日

社団法人東京都信用金庫協会
しんきん協議会連合会
株式会社アイワイ・カード・サービス
株式会社セブン&アイ・ホールディングス

都内信用金庫が電子マネー「nanaco」との提携で

地元商店街活性化を応援！

都内の信用金庫で構成する社団法人東京都信用金庫協会（略称；東信協、東京都中央区、会長：石原 哲夫）と、セブン&アイ・ホールディングス（以下セブン&アイ *HLDGS.*、東京都千代田区、代表取締役会長 最高経営責任者<CEO>：鈴木 敏文）は、セブン&アイ *HLDGS.* 独自の電子マネー「nanaco」を地元商店街等に普及促進していくことで、地域経済の更なる活性化に向けて積極的に取組んでいくことで、平成 20 年 4 月 1 日に合意しました。

この提携は、『地域のための金融機関』を目指している信用金庫と、『地域社会との共生』を掲げて組織的に活動していこうというセブン&アイ *HLDGS.* が『地元との運命共同体』の基本コンセプトで一致したことによるものです。

現在「nanaco」はセブン&アイ *HLDGS.* 内外の加盟店約 18,600 店で使われておりますが、今回さらに「nanaco」の読取端末機を地元の金融機関である信用金庫ならびに信用金庫の関連会社等が、セブン&アイ *HLDGS.* と協力・連携して商店街等に設置促進をしてまいります。地元商店街のお店で「nanaco」が使えるようになることで、利便性の向上を図り、顧客満足を高めていきます。セブン&アイ *HLDGS.* の枠を越えて相互の送客・集客を図り、地域の商店街から内需拡大を牽引していくものです。

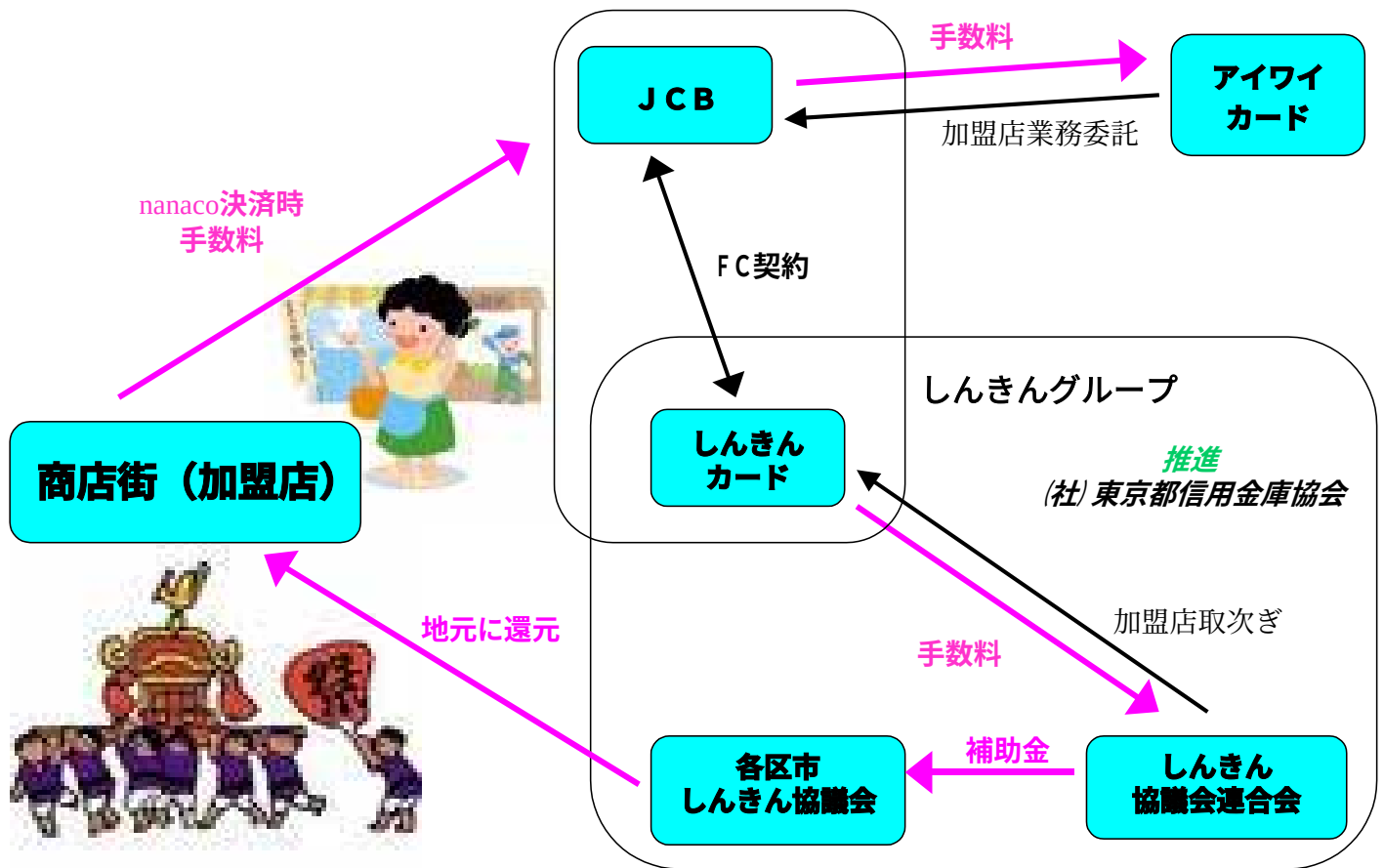
更に、今回の提携では、地域貢献の一環として、「nanaco」の利用によって商店街（加盟店舗）から支払われる決済手数料の一部を「しんきん協議会」を通じて、地元の商店街に還元致します。

《概要》

- セブン&アイグループの株式会社アイワイ・カード・サービスがカードを発行している電子マネー「nanaco」の加盟店業務を委託している株式会社ジェーシービーと、株式会社ジェーシービーと FC 契約を結んでいる信用金庫のグループ会社である株式会社しんきんカードは、「nanaco」の加盟店契約を締結していただくことで読取端末機を商店街に設置促進してまいります。「nanaco」加盟店に関しましては、現在複数の商店街と交渉中です。
- 「nanaco」の読取端末機は、一定条件をクリアの下、行政の助成金が活用できる場合もございます。なお、割賦購入をご希望の際は、しんきんリース株式会社のご紹介も致します。

《イメージ図》

「nanaco」による地元商店街への手数料還元の仕組み



各行政における商店街数

行政区名	商店街数	行政区名	商店街数
千代田区	62	荒川区	47
中央区	32	板橋区	66
港区	59	練馬区	92
新宿区	101	足立区	63
文京区	61	葛飾区	65
台東区	77	江戸川区	79
墨田区	55	八王子市	—
江東区	59	立川市	30
品川区	71	武蔵野市	55
目黒区	68	青梅市	8
大田区	121	府中市	4
世田谷区	119	町田市	45
渋谷区	54	東村山市	2
中野区	74	福生市	1
杉並区	149	狛江市	1
豊島区	79	清瀬市	3
北区	81		

※出典『日本の商店街 (Japan Shop)』 (<http://www.japanshop.net>)

以上